

第26回 『田奈駅近くの田んぼの稈取り』

と き 平成22年10月2日(土) 9:30 - 17:30

ところ 田奈駅近くの田んぼ

天 気 曇りのち晴れ

参加者 園主、霧生、久保、坂本、柴田、高田直子(午後)、田中、福井(午前)、百崎恵美、まる、吉田
計11名(子ども1名含む)

9時半集合

- グリーンのバンで田奈駅近くの田んぼに移動。途中、百崎親子を恩田駅で拾う。福井さんはバイクで。久保は田奈駅から徒歩で。
- 今日は柴田さんがリーダー、吉田さんがサブリーダーで作業開始!
- 田んぼは手前側のぬかるみがひどく、苗が倒れ、稈が密集。最初手前から稈取りを始める。
- が、30分経っても稈が多すぎて成果がよくわからず、皆の士気が上がらない。
- よって、奥の方からの稈取りに変更。これが功を奏して、皆さん作業に身が入る。
- 面積で言うと田んぼの9割方稈取りを終えて、12:30頃午前の作業終了。

谷っ戸ん田に戻り、昼食。高田さん参加。

13:30バンにて再度移動

- 直帰の方はバイクで移動。稈取りの続きをする。
- 稈が株でまとまってあれば、刈り取りは楽なのだが、ばらばらに生えているのも多く、その選別に時間が掛かり苦労する。
- でも午前中に奥の方を片づけたおかげで、午後は稈の密集地帯を全員で集中して刈ることが出来た。
- 終了間近、テツさんの大型コンバイン登場。これはあつという間に稲刈り(&脱穀)が出来るといふ優れものらしい。
- コンバインをテツさんと一緒に順番に操作。
- 他の者は働きぶりを眺めながら、テツさんの差し入れの浜梨をいただきました。
- 大ぶりでジューシー、皮が厚くて剥きやすく、繊維は粗めでしたが、この甘さは作業後の疲れを癒してくれました。ありがとうございました。美味しく頂きました。
- コンバインから、脱穀した米を荷台に乗せた大きい袋に開ける(自働)。本日の作業終了。
- 取れたお米は500kg(推定)。直帰する方は、ここで帰宅しました。
- 谷っ戸ん田に戻り、17:30解散。栗拾いをした栗を山分けする(テツさんに了承済)。
- 今年の栗は大振りで立派でした。田奈で帰られた方、渡せなくてごめんなさい。
- 若手リーダー達、御苦労さまでした。スムーズに作業出来ました。ありがとうございました。
- 田奈駅近くの田んぼは、視界が開けていてとっても気持ち良かったです。稈取りを終了した綺麗な田んぼをもう少し眺めていたかったなあ。
- 空は秋の雲で、鳩の群れが移動していました。田んぼの風景に癒された一日でした。

(記録: 百崎 恵美)